

▶ 第6章

## 中国が直面する国際収支リスク

### ——現実的な挑戦と日本の歴史的経験

中国社会科学院世界経済政治研究所 研究員 徐奇淵

中国社会科学院世界経済政治研究所 副研究員 楊盼盼

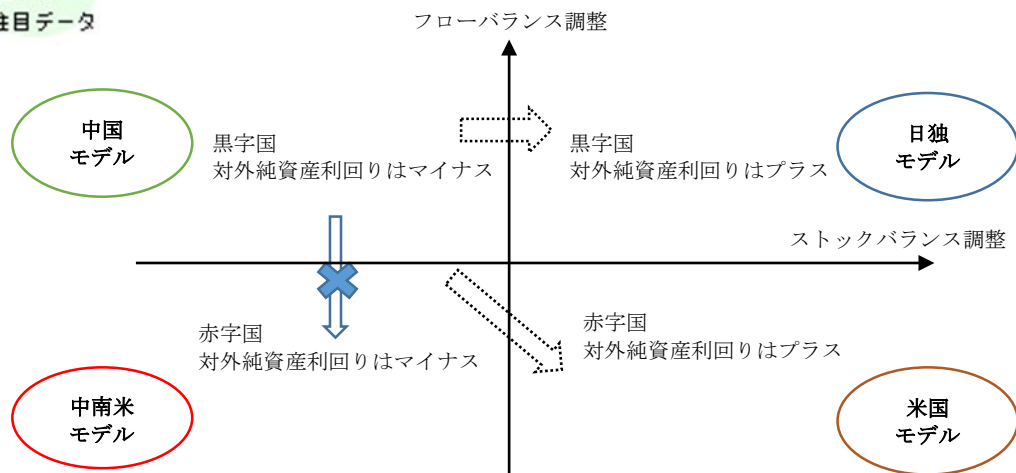
中国社会科学院世界経済政治研究所 助理研究員 周学智

#### 【ポイント】

- ▶ 中国の国際収支は中長期的に一定の挑戦に直面し、国際収支はほぼ安定し、わずかなマイナスに向かう可能性がある。その中で、外部要因は経常収支の財貿易、サービス貿易、経常収支に対応する資本と金融収支などのルートに影響を与えることで実現される。内部要因は主に住民貯蓄、政府貯蓄、企業貯蓄などのルートに影響を与えることで実現される。
- ▶ 収支の頻繁な変化と転向は、中国の金融市場体系、通貨政策環境に極めて深い影響を与える。具体的には、経常収支の赤字が一定期間蓄積され続けると、国際収支危機を直接誘発したり、国際収支の落とし穴を形成したりする可能性がある。また、経常収支科目のマイナス自体の継続的な蓄積は、国際収支の自己安定性を失い、国内資産価格に連動して影響を及ぼす可能性がある。
- ▶ 日本の「黒字循環」の経験と教訓を参考にして、中国が取ることができる措置は、財貿易の優位性を固め、サービス貿易の競争力を高め、海外投資収益率を高め、資本・金融市場の開放を着実に推進し、資金の国際循環を広げ、産業チェーンの国際循環を広げ、国際通貨体系の改革を推進することである。



フローバランスとストックバランスの調整の4つのモデル



資料：楊先望など（2019）